



# 吉野町小水力利用推進協議会 について

吉野町小水力利用推進協議会  
事務局



# 奈良県吉野町

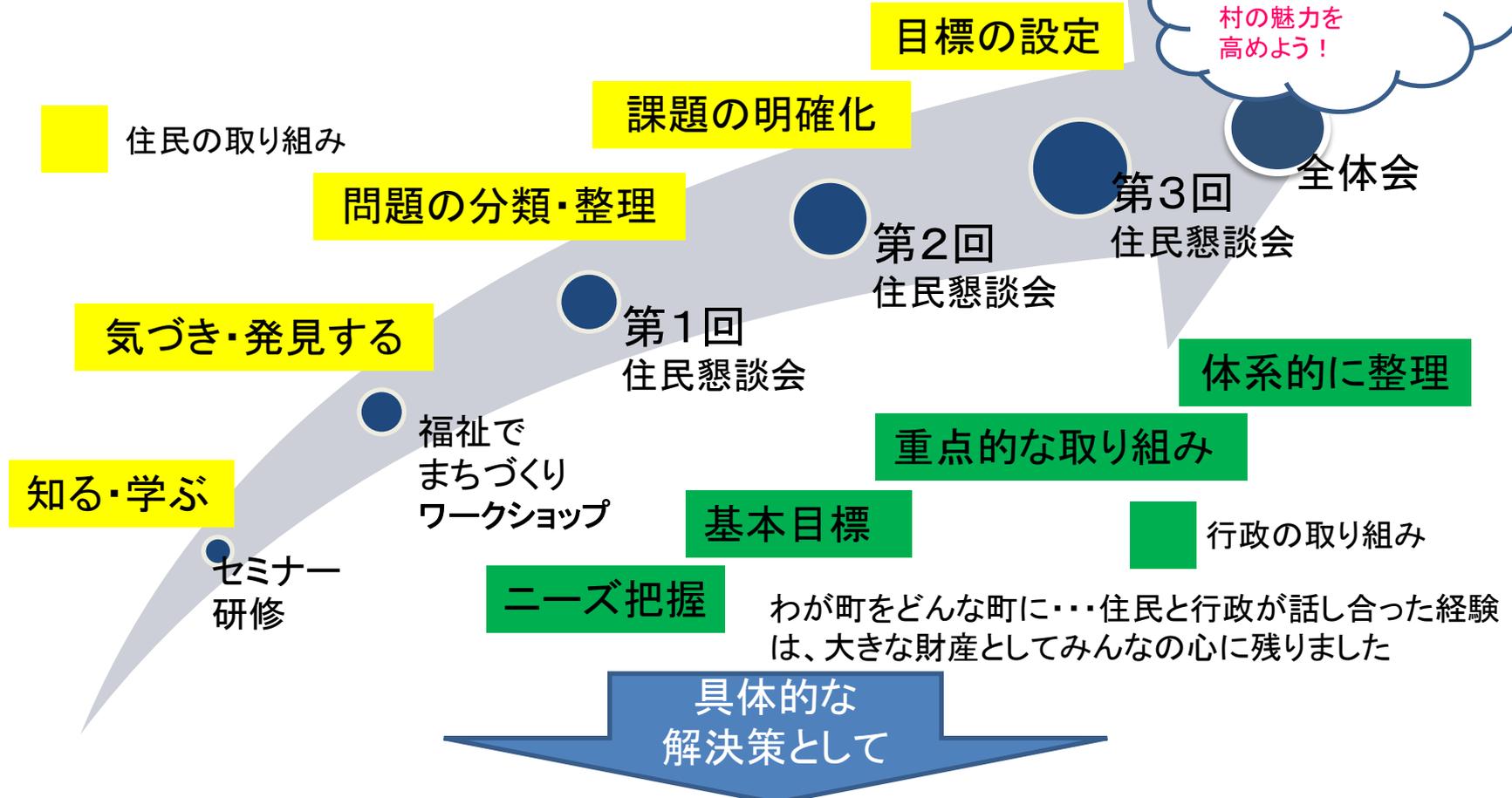


# 基本となる考え方: みんなでつくった地域福祉計画

今なぜ地域福祉か・・・住み慣れた地域でだれもがその人らしく豊かに幸せに暮らすこと(憲法13条個人の尊厳と幸福追求の権利)の実現を基本理念に、すべての人の自立と参加という新しい考え方が法に盛り込まれました。  
=まちづくりへのすべての人の参加・共生をめざしました。

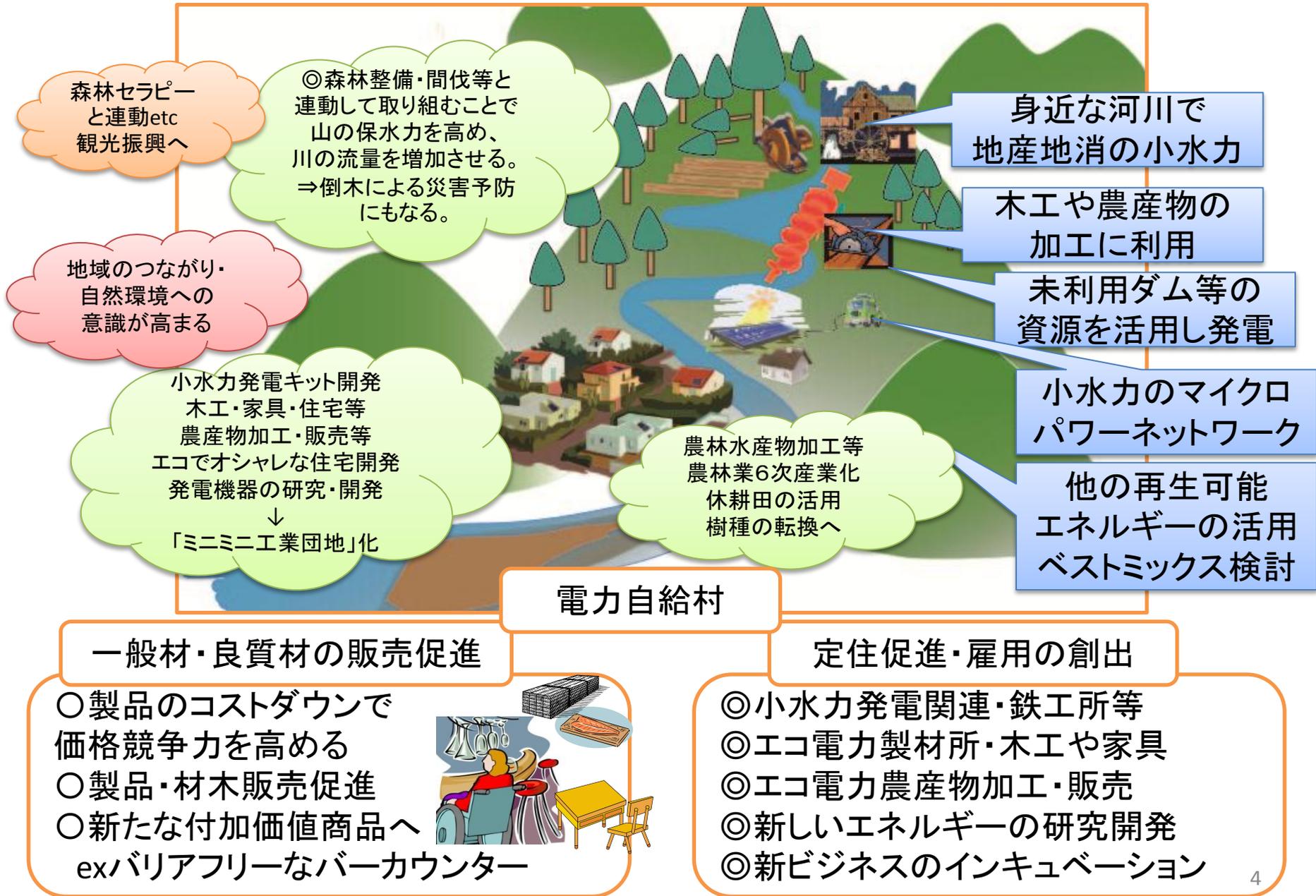
基幹産業の衰退  
過疎化・人口減少  
は止められない  
が・・・

住民で・協働でできることをやろう!  
村の魅力を高めよう!



課題解決の1つとしての小水力発電を提案

# コンセプト: エコでヒューマンな自立できる村づくり



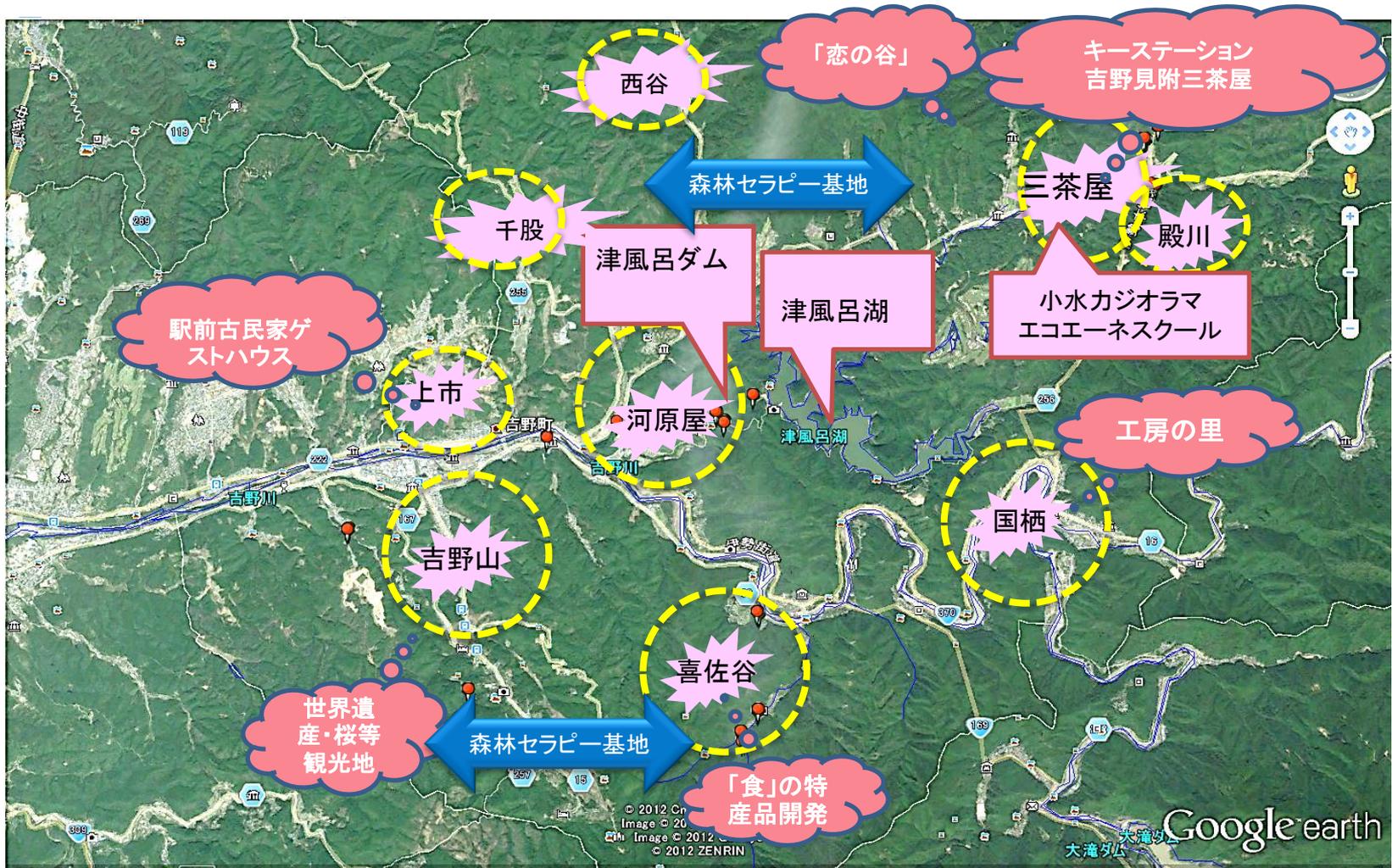
# コンセプト(考え方と方針)

小水力発電を、**次代に残せる公共財産**として位置付け、小水力を柱としたエネルギーの地産地消による地域活性化の**未来ビジョン**を地域のみなさんで共有します。  
小水力発電を導入することで地域に新たな産業がおこり、若い人や都会の人が移住してくるようになる、中山間地活性化のモデルを導き出し、再生可能エネルギーのブレイクスルーに貢献することをめざします。



エコでヒューマンな自立できる村づくり  
生まれた電力を  
基幹産業である製材や農産物の加工・販売のために活かし  
エネルギー自給の魅力ある地域として定住の促進を図る

# 地域間連携による新たなエコツーリズムへ



# 吉野町小水力利用推進協議会 重点プロジェクト

## 三茶屋地区

- 山村振興のための拠点施設「吉野見附三茶屋」の活性化
- 奈良県南部の水車のショールーム

## 河原屋地区

- 導水路・ダム直下での小水力発電をめざす
- 商品開発・吉野オリジナル資金調達モデルの実現

## 喜佐谷地区

- 豊富な水系
- 地域資源を活かした様々な農産品開発先進地

## 殿川地区

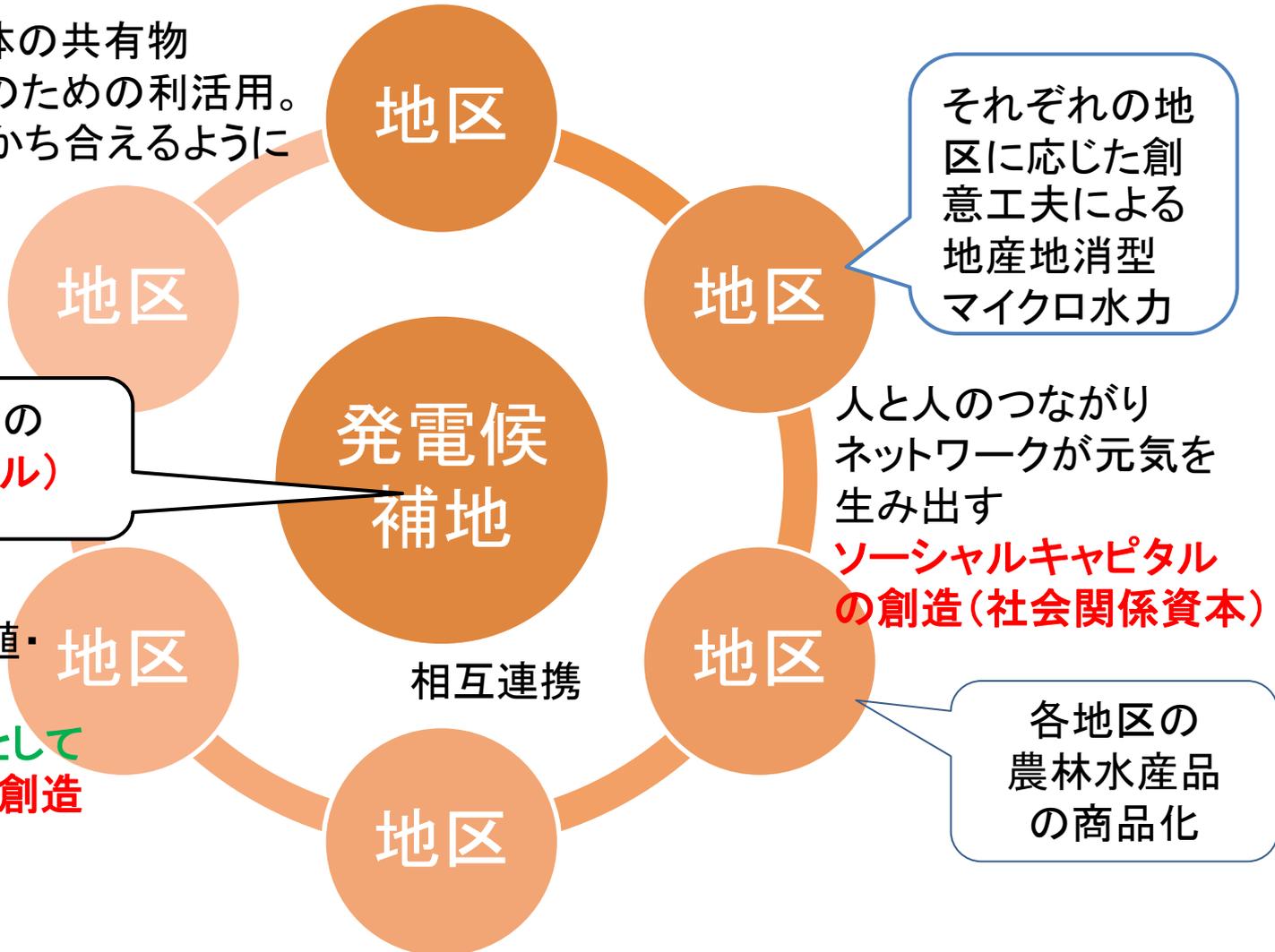
- 電力自給の魅力ある村
- エコ電力 学びの場

# 分かち合い・共生の考え方で ソーシャルな価値・ソーシャルキャピタルの創造

自然環境＝地域全体の共有物  
として、地域の発展のための利活用。  
果実をできる限り分かち合えるように  
という考え方。  
生まれた電力も  
地域で分かち合う。

地域の**共有財産**としての  
**小水力発電(発電レベル)**

農林漁業の栽培養殖・  
加工・販売  
**エコ電カメイド商品として**  
**ソーシャルな価値の創造**



# H25年1月 設立総会



# 開発経過



殿川地区はS22年小名・色生番地の中に国の施策により開拓村として入植した村。今は過疎化が進む。(高齢化率夜には真っ暗になってしまうので、集会所までの道がわかるよう、お年寄りの足元を照らすことを目的に実験を開始。



点灯を喜ぶお年寄り

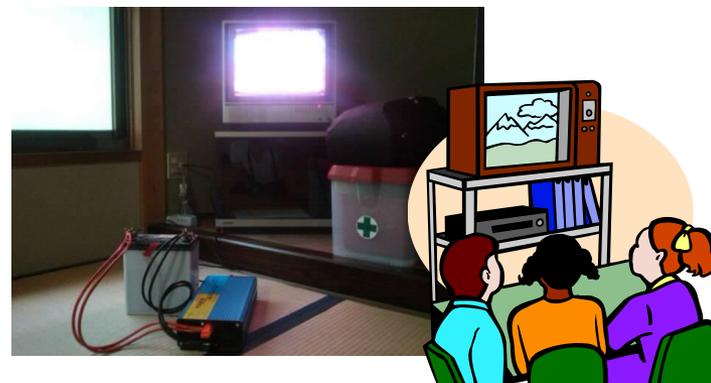
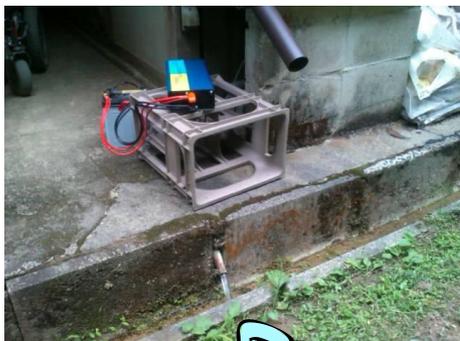


## 今なぜ、「小水力」か・・・

戦後の開拓村「殿川地区」のマイクロ水力から学ぶことは図りしれない。  
今でも停電で水が途絶え、命の危険にさらされる過酷な状況に、地域の資源を活用して、ないものは自ら作り出そうというパワー。  
一番水の少ない地域でできたら、どこでもできる、人材育成としての意義。  
高齢化がすすむ過疎地での助け合いと支え合い。マイクロ水力による灯りは  
「安心していいんだよ。みんな忘れないでおばあちゃんたちを見守ってるよ。村の灯りを増やしていくよ。」という、地域の暖かい気持ち、メッセージなのです。

# 殿川地区：災害時の自立電源化！

木製水車の発電による、水道ポンプ・冷蔵庫・照明・テレビ及び通信機器の稼働実験を行い、すべてクリア！さらに精度を高める活動が続く。



# エコ電力でまちづくりWS 実際に用水路で実験



エコ電力でまちづくりワークショップとは：  
再生可能エネルギー利用に誰もが参加できる場



# 三茶屋水車設置場所・水路の整備



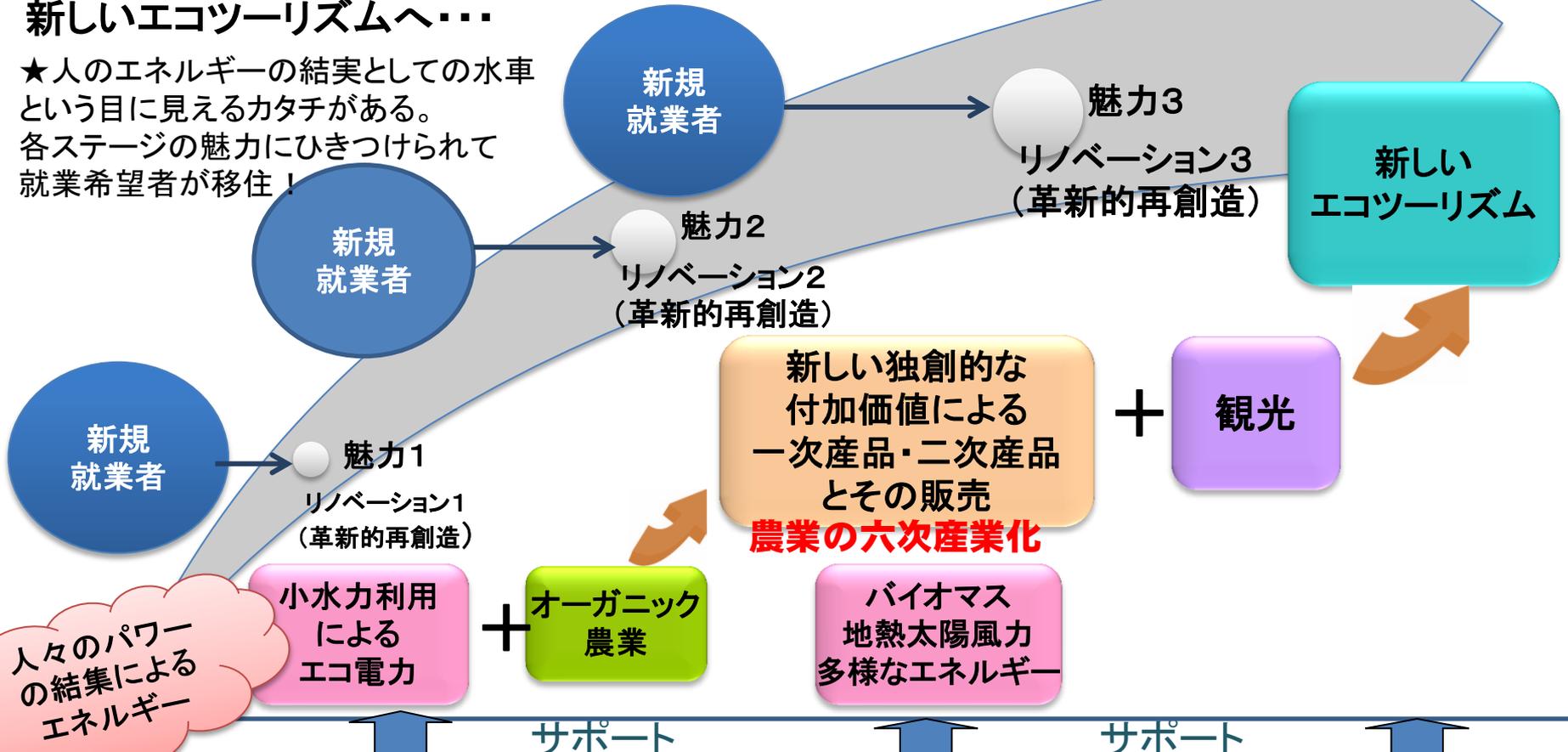
# 三茶屋の拠点施設に設置



# 小水力発電の先にある活性化のグランドデザイン

地域ぐるみの小水力発電等で生まれた電気・エネルギー⇒一次産品・二次産品(加工)に利用⇒エコエネメイド商品として販売⇒観光にも波及  
新しいエコツーリズムへ…

★人のエネルギーの結実としての水車という目に見えるカタチがある。  
各ステージの魅力にひきつけられて就業希望者が移住!



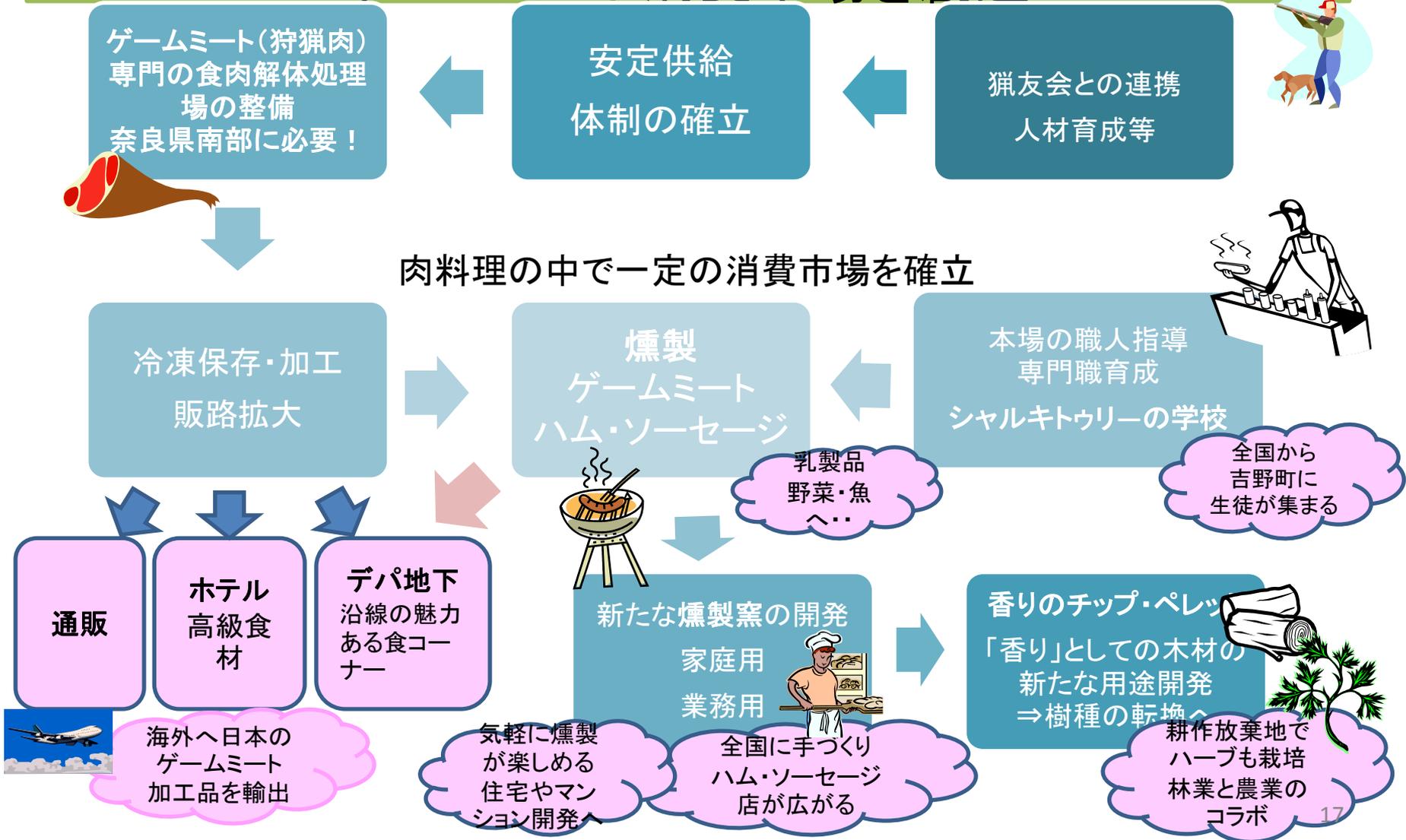
## エコでヒューマンな自立する村づくり

小水力を柱としたエコエネルギー利用によるコミュニティの再構築

魅力的な地域づくりにより地域住民に参加性・積極性が生まれ、彼らが新規就業者・移住者をサポートし、新たな人間関係が生まれ、新たなコミュニティが構築される。

# 具体的な六次産業化プラン

## ゲームミート専門処理場整備・専門職育成により ゲームミート消費市場を創造



# 「吉野町」協議会から「吉野」協議会へ



吉野町  
小水力利用推進  
協議会が発足

東吉野村へ  
波及

川上村へ  
波及

十津川村へ  
波及

吉野町と東吉野村の  
連携による社会実験  
スタート！

# 地域振興に資する・・・とは何か？

- 地域振興とは何か
  - 地域振興とは一人一人の地域の人にとってプラスになること

# 地域振興を図るためには

- 地域振興を図るためには
  - 地域振興策は1つや2つだけではできない。
  - 一度壊れた地域を再生するのは並大抵のことではない。
  - 地域に埋もれる多様な地域資源を掘り起こし、複合的に様々な可能性を探りシナジーを生み出すことが必要

# 問題提起①

- 小水力利用、小水力を柱に、、だけで、本当の地域振興が図れるのか
- エネルギーの縦割りをなくすべき
- 柱は何本も必要
  - バイオマス
  - 太陽光・風力
  - 地熱

# 問題提起②

## 今の小水力の抱える課題

- 実施主体形成
  - 地域住民がいかに主体的にやる気になって動き出すか。この動きを作れなければ、小水力発電は爆発的に普及しない。
  - いかに、地域の自主・自力度をあげるか・が問われる。これは全国的な課題。

# 問題提起③

## 今の小水力の抱える課題

- カスタマーファーストになっていない
- メーカーサイドの小水力発電
- 消費者の権利の視点が全くない

# 売電型 & 地産地消型の整理

## • 売電型

- 負担者は誰か
- 受益者は誰か
- 金額を極めて明らかにする必要あり
- 透明性・説明責任
- 最低1年半 流量調査必要
- メンテナンス費用かかる

## • 地産地消型

- 目的を明確にすることが大事
- 活動する人・応援する人みんなが参加できる
- 小水力を柱に多様なエネルギーを組み合わせたり、生まれた電力の活用策を考えることが可能
- 大きな波及効果がある